

## 仙台市新田東総合運動場アーチェリー場管理運営要領

(平成 28 年 3 月 25 日市民局長決裁)

### (目的)

第 1 条 この要領は、仙台市新田東総合運動場アーチェリー場（以下、「施設」という。）の利用に関し、施設内外での事故防止及び安全で快適な施設運営を図るため、必要な事項を定めるものとする。

### (使用できる者)

第 2 条 施設を使用できる者は、次の各号に掲げる全ての条件を満たす者とする。

- (1) アーチェリー競技の経験を有する者
- (2) 公益社団法人全日本アーチェリー連盟が定める安全規定及び安全宣言を理解し、遵守できる者
- (3) 施設の指定管理者の指示に従い、指定管理者が定める使用規程を遵守できる者

### (競技経験)

第 3 条 前条 (1) に掲げる「アーチェリー競技の経験を有する者」は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 競技大会の参加経験がある者
- (2) 中学・高校・大学等の部活動、又は地域クラブ等の競技団体に所属し、現に活動している者
- (3) 指定管理者が主催する検定会に合格し、宮城県アーチェリー協会に加盟している者
- (4) その他、指定管理者が認めた者

### (利用者登録)

第 4 条 施設を使用する者は、利用者登録を行い、登録証の交付を受けなければならない。

2 前項に規定する登録証の交付は、「仙台市新田東総合運動場アーチェリー場使用申込書兼承諾書」（別記様式第 1 号）に次の各号に掲げる書類を添えて指定管理者に申し込むことにより行うものとする。

- (1) 運転免許証、旅券、健康保険の被保険者証、その他本人確認ができる書類
- (2) 第 3 条各号に定めるアーチェリー競技に関する経験・資格等が確認できるもの
- (3) 顔写真（3 cm×2.4 cm）1 枚（登録証添付用）

### (登録証の交付)

第 5 条 指定管理者は前条の規定による申し込みがあったときは、速やかに必要な確認を行い、当該申込者が第 2 条に規定する者であると認めたときは、当該申込者に氏名を自署させたうえ、本人写真を添付した登録証を交付するものとする。

2 登録証の様式は、別記様式 2 号のとおりとする。

(使用の方法)

第6条 登録証の交付を受けた者が施設を使用する際は、あらかじめ本人の登録証を職員に提示するものとする。

(登録証がない者の利用)

第7条 登録証がない者の使用は原則として認めない。ただし、アーチェリー指導資格保有者及び審判員資格保有者を同伴した場合はこの限りではない。この場合、使用の際はあらかじめ指導者資格証を職員に提示するものとする。

(使用の制限)

第8条 指定管理者は、利用者及び施設の安全を確保するため、次の各号のいずれかに該当する場合、利用者に対して施設の使用を制限することができる。

- (1) 利用者数が20人を超えるとき
- (2) 利用者が高校生以下の場合で、責任ある指導者を伴っていない場合
- (3) 強風等により、施設の使用が困難と判断したとき
- (4) その他、指定管理者が必要と判断したとき

(利用者登録の抹消)

第9条 指定管理者は、利用者が第2条の規定に違反したと判断した場合は、直ちに使用を停止させるとともに利用者登録を抹消することができる。

(雑則)

第10条 この要領に定めるもののほか、この要領の実施に関し必要な事項は、文化観光局長が別に定める。

附 則

この要領は、平成28年4月1日から実施する。

附 則 (平成31年3月20日改正)

(実施期日)

- 1 この要綱は、平成31年4月1日から実施する。

(経過措置)

- 2 この要領の施行の際現にあるこの要綱による改正前の様式による用紙については、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

仙台市新田東総合運動場アーチェリー場個人使用申込書兼承諾書

事故を防止し、安全な利用環境を確保するため、安全マナー及び安全規定等アーチャーが守るべきマナー・義務を遵守することを誓約し、マナー・安全規定等に違反した場合、又は係員の指示に従わない場合は、利用の権利を喪失することを承諾の上、新田東総合運動場アーチェリー場の個人利用カード発行を申請いたします。また、利用に際しては、自己責任において安全確保するとともに、施設又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償いたします。

【個人利用にあたっての注意事項】

- 利用の際は、電話(Tel022-231-1221)又は、施設ホームページでアーチェリー場の空き状況を事前に確認してください。既に専用使用の予約が入っているときは利用できませんので、ご了承ください。
- 利用の際は、券売機で入場券を購入し、窓口で「個人利用登録証」と併せて提示してください。
- 天候等の理由により施設の利用を中止する場合がありますので、ご了承ください。
- アーチェリー用具等はご自身でご用意願います。(レンタル品等はありません)

【安全マナー】 ※その他規定等については、別紙(【安全のために】～公益社団法人全日本アーチェリー連盟～)参照。

- どのような場合でも、人に向かって弓を引かない。
- ターゲット付近に人がいないことを確認して、発射する。
- 空及び上方に向けて撃たない。
- 自分のドローレンジより短い矢を引いてはならない。
- 弓を引き戻すときは、的にサイトを合わせて戻す。  
(弓を上に向けて、又は下に向けて引き戻さない。)
- 他の人が射っている間は静かにする。
- 身体にぴったり合った(だぶつかない)服装を着用する。
- ストリングが、ボタンや衣服に引っかからないように準備する  
(チェストガード利用)。
- プレーの前には、しっかりと弓具の点検をする。
- 射る人の前方、または前側に立たない。
- 他の人が射っている時は、決してターゲットに近づいてはならない。
- 自分の身体に合った強さの弓を引くこと。
- 矢がアローレストから落ちたら、引き直す。
- 自分が立ったレーンの前方のターゲット以外は撃たない。  
(斜めうち禁止)
- 許可なく、他の人の弓に触れたり引いたりしてはいけない。
- 矢を抜くときには、後ろに人がいないことを確認してから行う。
- 矢を探すときは、他の利用者にわかるように、ターゲット前に弓を立てておく。

(あて先) 仙台市新田東総合運動場

(申込日) 年 月 日

※太枠内をご記入ください。 [ご記入頂いた個人情報につきましては、新田東アーチェリー場の利用に関する事項のみに使用いたします。]

申込者 (使用者)	住所	(〒 - )	
	TEL	( ) -	
	フリガナ 氏名		生 年 月 日  年 月 日 (満 才)
アーチェリー競技の経験	1 . 競技大会参加経験		
	2 . 所属競技団体名等		
	3 . その他	<input type="checkbox"/> 検定会合格者【※アーチェリー協会への加盟者のみ申込可】 <input type="checkbox"/> その他( )	

【保護者同意書欄】 ※未成年者登録の場合

保護者氏名 : (印) (続柄) 保護者Tel : ( ) -

施設記入欄 (本人確認): ☐運転免許証 ☐旅券 ☐保険証 ☐その他( )

【検定会合格者の場合】 アーチェリー協会への加盟済確認 : ☐会員カード ☐領収書

(備考):

## 【安全のために】 ～ 公益社団法人全日本アーチェリー連盟 ～

### ◆安全宣言

1. 私たちは、たとえ矢をセットしていなくても、決して弓を人に向けません。これが、アーチェリー最大のマナー常識です。
2. 私たちは、一斉矢取りを励行します。
3. 私たちは、アーチェリーに真剣に取り組めます。
4. 私たちは、ルールを守ります。
5. 私たちは、アーチェリーを自己責任のスポーツであることを理解します。
6. 私たちは、事故撲滅のため、「安全マナー」「事故防止に向けて」などの基本を守って事故ゼロを宣言します。
7. 私たちは、指導者・管理者の注意を守ります。
8. 指導者は、先ず安全教育から始めます。
9. 指導者は、技術と共に、心豊かな人材育成を心がけます。
10. 私たちは、相手を誠実に思いやり、尊敬し、真剣に競技して、良いアスリート・心豊かな人になることを宣言します。

(2011 年 5 月 29 日)

### ◆より楽しく射つために

アーチェリーの矢のスピードは、弓の強さにもよりますが、時速200～230km くらいになります。その衝撃力は、圧さ5ミリの鉄板を射ち抜くほどです。アーチェリーは紳士淑女のスポーツ。安全のためのマナーを守って楽しみましょう！

### ◆事故防止に向けて ～ アーチェリーを楽しく安全にプレーするために絶対に守ってもらいたいマナー ～

- 安全が確保出来る環境以外では、絶対に弓を引かない。
- 必ず的に向かって、水平に引き分けてください。引き戻す際も、そのまま的に向かって戻してください。  
(3m ライン内に向かっての引き戻しは禁止します)。
- 矢が的から逸れたら、その原因が分かるまで次の射は止めましょう。また、紛失した矢を確認してから次の射を行なうようにしてください。
- 試合中に弓具故障が発生したら、まず審判員にアピールしてください。  
故障した弓具・リリーサー等は試合中に調整せず、すぐに予備に交換してください。
- 飲酒は控えてください。(練習、調整中でも誤射の恐れがあります)
- 指導者・施設管理者等は、危険な行射、またはその恐れのあるアーチャーには、その場で注意、指導をしてください。  
アーチャーは、第三者からの助言に素直に従いましょう。
- 安全確保の基本は、自分の体力でコントロールできる強さの弓具を使用することです。無理せず、無駄なくアーチェリーを楽しみましょう。

**\* 安全確保はアーチャー全員が守るべき最大のマナー・義務です \***

(2009 年 4 月 16 日)

### ◆安全規定 ～ アーチャーの安全マナー ～

すべての会員(選手・役員)・愛好者は危険防止に関して相互に連帯をとり、次のことを守り、その防止に努めなければなりません。日常から事故防止と安全に関しての習慣を定着させることが安全指導の基本的な考え方といえます。競技スポーツとしてのアーチェリーを通じて私たちは、相手を誠実に思いやり、尊敬し、真剣に競技して、よきアスリート・心豊かな人間になることを目指します。

#### 第1章 使用弓具の保管責任

アーチェリーの発祥は、太古の狩猟時代であり、その後は戦争の主要武器として使用されてきた。現在、矢は時速 200～230 km の速度で飛び、厚さ数mmの鉄板を射抜くと言われている。この威力ある道具を取り扱うためには、十分な安全対策を講じなければならない。弓具は、日本国内では利用上も保管上も法的な認可(免許制度)や制限を全く受ける必要のない飛び道具(過去は武器)であり、アーチェリーはこれを用具として使用する競技スポーツである。したがって、これを使って余暇の善用を図ろうとする者には、必然的に重い社会的責務が課せられているものと心得え、深い自覚と認識が全会員・全愛好者に求められる。

#### 第2章 活動中の保安管理

第1節 練習中・競技中にかかわらず、確認できる範囲内で、自らの責任において弓具を管理しなければならない。

第2節 部外者に対し、いたずらな好奇心や無用の出来心を生じさせるような状態で弓具を保管してはならない。

#### 第3章 活動外の安全管理

第1節 盗難・紛失・置忘れ等、不測の事故防止のため、クラブ活動においてはその部室で、個人活動では自宅等で、適正な方法で保管する。

第2節 練習場・競技会場等への移動中も、弓具の管理には十分な注意を払う。

#### 第4章 行射上の安全確認行為

- 第1節 弓具を使用する者には、使用に当たっては本人だけでなく他者に対する安全の責任、および不測の事故を未然に防止する責任があり、これを確実に実行するための行動と心構えが強く求められる。
- 第2節 矢が標的から外れたときは、その原因がわかるまで次の行射を中止しなければならない。
- 第3節 矢がアローレストから落ちたときは、引き直さなければならない。
- 第4節 自分の身体にあった強さの弓を引かなければならない。
- 第5節 自分の矢尺より短い矢を引いてはならない。
- 第6節 自分の体調管理をしっかり行い、体調が良好でない場合は練習および競技活動を中止しなければならない。

#### 第5章 使用前後の点検確認

- 第1節 安全に対しては、練習中・試合中を問わず、明確な責任をもって行動しなければならない。
- 第2節 弓具は常に安全に使えるよう、自己の責任で手入れをする。  
使用の前後にはリムやハンドルに損傷はないか、ネジ類に緩みはないか、ストリングにサービングのほどけなどの異常はないか等、点検・確認を必ず行わなければならない。
- 第3節 行射の前後においては、所有する矢の本数を確認し、責任を持って管理しなければならない。

#### 第6章 行射時の前方確認

- 第1節 各自がシューティングライン前方の安全確認を行い、行射しなければならない。
- 第2節 安全状態に確信がないときは、安易な妥協による行射をしてはならない。
- 第3節 部外者への一時的な弓具の貸与は毅然たる態度で断り、安易な妥協で行射を許してはならない。

#### 第7章 シューティングラインでの配慮事項

- 第1節 試合中・練習中を問わず、シューティングライン上では一列に整列し行射しなければならない。
- 第2節 行射時は、スタビライザー等が接触するような過密状態を避けなければならない。

#### 第8章 セットアップ時の安全

- 第1節 必ず標的に向かって、水平に引き分ける。引き戻す際も、そのまま標的に向かって行う（3mライン内に向かっての引き戻しは禁止する）。
- 第2節 空に向けて射ち起こす者には、安全の観点から直ちに射法改善を勧告し、強い指導をする。
- 第3節 危険防止の対処法は、個人の考え方や方法論で論ずるべきではない。
- 第4節 選手がセットアップ改善の勧告を受け入れないときは、競技会への参加中止を命令する。

#### 第9章 競技者のエチケット(禁忌行為)

- 第1節 弓具を取り扱う者として、常に自己への安全配慮を優先的に心得え、絶対的な安全策と不安定要素の排除に最大限努めなければならない。
- 第2節 倒れることによる弓具の破損防止のため、弓具エリアは整頓に努め散乱状態に放置してはならない。
- 第3節 場所や場面に応じ、人が移動するための動線・通路の確保に努めなければならない。
- 第4節 シューティングライン上以外では「素引き」をしてはならない。
- 第5節 上記の場所以外での「素引き」は、「弓」を他人に向けた威嚇行為とみなす。
- 第6節 行射中のシューティングライン上では、視界前方の射手を優先し、後方射手は後退時の動きに配慮しなければならない。
- 第7節 エイミング中、近くの者は動いたり、話したり、騒いだり、真後ろに立ったりしてはならない。
- 第8節 行射している者の前方又は前側方に立たない。立たせない。立ち入らせない。
- 第9節 矢の紛失発生時、練習中ならば施設の管理者に、競技中ならば審判員に直ちに届けなければならない。
- 第10節 届け出のあった紛失矢は、必ずその日限中に捜索・回収等を行うこと。  
紛失した矢の無届・無回収は、他の競技に重大傷害を負わせる結果を招く。
- 第11節 的を外した矢を回収している際は、他の人に分かるよう、的前に弓を置くこと。
- 第12節 いかなる場合も他人に向かって弓を引かない、矢を空に向かって射たない。
- 第13節 許可なく他人の弓具に触れてはならない。
- 第14節 矢を抜くとき、矢の後方に人がいないことを確認してから行うこと。
- 第15節 競技中はもちろんのこと、練習中においても飲酒をしてはならない。

アーチャーがこの「安全規定:マナー」を守れば、すべての人にとってアーチェリーはより安全で楽しい競技になるものと信じます。しかし、一部の不心得アーチャーが競技会や練習場においてこれを無視し、他者の迷惑になることをした場合、懲戒という意味で、運営責任者・管理者により、競技出場の中断(失格)、一定期間の競技会出場停止、施設への立入禁止等の厳しい措置を検討いただきたい。これは、多くのアーチャーが「安全規定:マナー」を守って競技や練習に臨んでいるからです。正しい行動を取るアーチャーの利益を守ると言う観点から、審判員・競技役員・射場管理者等の指導的な立場にある方は、この問題に取り組んでください。アーチェリーはゴルフと同様に、採点は基本的に自己申告であり、審判員が立ち会わなくても競技は成立します。これは、アーチャーの一人ひとりが「競技規則」と「安全規定:マナー」を守り、誠実にプレーしているから可能なことです。

これに加えて、本連盟の定める「理念・行動指針」を十分に理解の上、全てのアーチャーがより安全にアーチェリーを楽しめるよう願うものです。

(様式第2号)

<div data-bbox="164 169 421 204">元気フィールド仙台</div> <div data-bbox="164 230 489 318">アーチェリー場 利用者カード</div> <div data-bbox="563 219 719 327">写 真 (3×2.4cm)</div> <div data-bbox="164 477 236 511">氏名</div>	<div data-bbox="1013 165 1193 197">注 意 事 項</div> <ul style="list-style-type: none"><li>●このカードは、他人への譲渡及び貸与はできません。</li><li>●施設をご利用の際は、必ずこのカードを提示してください。</li><li>●登録内容に変更のある場合や、カードを紛失された場合は、すみやかに体育館窓口までお申し出ください。</li><li>●利用可能時間については、電話・窓口又はHPでご確認ください。</li><li>●安全マナー・ルール等に違反した場合、又は係員の指示に従わない場合は直ちに利用を停止させるとともに、登録を抹消し、利用の権利を剥奪いたします。</li></ul> <div data-bbox="810 486 1394 539">【安全確保はアーチャー全員が守るべき最大のマナー・義務です】 安全マナー・ルールを守り、安全利用に努めてください!!</div>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------